

第12号  
平成23年3月

# 北野町連だより

夢とロマンのあふれるまち

発行者  
北野地区町内会連合会  
会長 濱田英彦

題字 木村信也氏（南北野）

## 写真で振り返る！ —平成22年度の活動—

春



▲北野町連第28回定期総会（4月）



▲厚別川ヤマベの稚魚放流（5月）



▲厚別川河川敷草刈・清掃（6月）

夏

▶北野ふれあい夏まつり  
夜空に咲いた花火（7月）

▲北野児童会館20周年記念行事（7月）



▲北野ふれあい夏まつり（7月）

▲交通安全街頭啓発 北野平小（7月）

北海道社会貢献賞受賞 !!  
— 河川愛護等功労 —

昭和58年の町連設立以来、毎回千人に及ぶ町内会の皆さんの協力により絶えることなく継続中の厚別川草刈・清掃の取組みが、良好な河川環境の保全など多大な貢献を果たしたとして、北野町連が北海道知事から北海道社会貢献賞の表彰を受けました。



— ありがとう みんなのおかげで 事故がない — (佐野純太さん 北野小6年)



◀ 交通安全街頭啓發

北野小 (9月)

▶ 北野防災研究会  
設立総会 (10月)

▶ 北野福祉まつり (10月)



▶ 福祉サービス宅配弁当づくり (11月)



◀ 青少年音楽のひろば (12月)



▶ 新春子どもカルタ大会 (1月)

▶ 北野児童会館の  
よい子たち (2月)

◀ 雪とあそぼうチューブすべり (吉田川公園にて) (2月)

### 「災害時要援護者避難支援事業」を終えて

昨年12月2日早朝、清田区を震源とする直下型地震（震度3）を初体験。その怖さが冷めやらぬこの3月11日、国内最大M9.0津波10mを越えた東北・関東地方に巨大地震が発生。多くの港街が壊滅状態で多数の死者・行方不明者が出て、救助・災害復旧に困難をきわめています。

当北野地区では、大きな地震（災害）が起きた時「一人で避難ができない」「避難所へ行くのが難しい」ために手助けを希望する方、逆に支援ができる方を手上げ方式を中心にして各町内会・自治会で募って頂きました。

その結果、要援護者は431名、支援者が1,074名にものぼり、要援護者1名に対して、2名以上の支援者で組み合わせることが実現いたしました。ここに至るまでには、各町内会・自治会の福祉推進委員長さんはじめ、民生委員の皆さんとの長期にわたるご努力のお蔭であると深く感謝申し上げます。

以前要援護の方に記入頂いた愛情カードは、救命医療キットに納めてご本人にお返し致しました。消防署と連携を図り、冷蔵庫内に保管頂きますと緊急時には救急隊員が大切に取り扱って有効活用致します。

なお、今後とも体力が弱ったり災害のことが心配の高齢者の方は、遠慮なく「福まち」へご相談ください。

◎福まち Tel.885-0294番（運営委員長 一瀬ヒロ）

# 北野けいじ板

北野中央自治会の主な行事を紹介いたします。

(1) 環境美化の取組み 清掃は、厚別川左岸緑地・北野通り・第1公園・第2公園・町内会エリア・ごみステーション等で行っています。また、花壇整備も年5回行っています。毎年5月には花苗を植えますが、昨年はサルビア他900株を好天のもと心地よい汗をかきながら、参加者56名ですてきな花壇にしました。北野通りの作業では、わざわざ車を止めて「お疲れさまです！」と声をかけてくださる人もいます。美しい花が咲きすばらしい花壇に変身するその喜びを、多くの方々と共有できることを励みに続け



花壇整備で汗ながす



厚別川河川敷草刈後の懇親会

ているところです。

(2) 自治会の野外懇親会開催 町連主催の厚別川河川敷草刈後の最大イベントとして行っています。昨年6月の草刈には80名・懇親会には140名の参加がありました。汗をかいた後の生ビールに始まり、焼き鳥・ジンギスカン等大人から子どもまで和気あいあいの時を過ごしました。お手伝役員の苦労も多くの参加者の楽しい姿で逆に元気になるようです。

他に防災訓練、研修旅行、果物狩り、パークゴルフ大会、夏の合同ラジオ体操、七夕、クリスマス会等々多くの会員が気軽に参加できるよう努めています。

北野641自治会は、札幌市営住宅に入居している会員295戸で構成されています。

この度、北野町連だより第12号の「けいじ板」に行事紹介の依頼がありましたが、当自治会独自の行事はありません。札幌市との関連で行っている事業について報告させて頂きます。



人工呼吸の訓練

今回紹介いたします防災対策については、平成19年6月に札幌市から指示を受けて、年1~2回の防災訓練を行うようになりました。

第1回の訓練は、平成19年9月30日午前10時から、北野中央公園を避難所と定めて避難誘導訓練を実施しました。初回にしては多数参加し大人130



消火器による訓練

名、園児と小学生に限り30名で清田消防署北野出張所の指示のもと整然と行われました。100%完ぺきとはいませんでしたが、参加者一同、有意義であったと語り合いました。

消火器による消火訓練やダミー人形を使っての救命訓練は、平成20年10月に続いて平成22年9月にも実施しました。実際に自分で消火器を使ったり、ダミー人形を使って人工呼吸のし方を学んだりして大変役に立ちました。

今後、更に防災に対する意識向上のために、会員同志協力して継続実施に努めていきます。

## 「安全・安心のまちづくり」をめざして



北野まきば町内会  
会長 鍛治 鐵夫

当町内会では、「安全・安心の住みよいまちづくり」を目標に、「まちづくりは人ととの交流から」をコンセプトに活動を進めています。

これまで継続して積み上げてきた事業 ①「まきばサロン」を拠点にした会員相互の交流活動の推進 ②毎月広報紙（「会報まきば」・「さらんニュース」）発行による情報の共有、情報開示の徹底 ③秋まつりの開催 ④街路灯更新・移管（進捗70%）を実施してきました。

特に本年度は、⑤ごみステーションのサークル導入・カラス被害の解消 ⑥災害時要援護者避難

支援モデル事業の確立 ⑦まきば防災計画の作成など、重要課題に取り組みその実現を図りました。

さらに特筆すべきことは、昨年末清田区において賃貸会館に対する新たな補助制度（上限20万円・家賃の三分の一）が創設され、まきばサロンにも補助決定がされました。思えば平成14年から取り組んできた積年の願い（夢）が最高の形で結実する事になり、北野町連・関係者ともども喜んでいるところです。

行政の思いは“安全・安心のまちづくり”、まさに地域力の向上にあり、私たち町内会の目指す処と合致する訳であります。新年度も「まきばサロン」に生まれた新しい幸運を生かして「住民相互の交流」の拡大進展により努力して参ります。

### 古老をたずねて③

#### 「地域の子どもとともに!!」を 旨として活躍



村 西 鉄 男 氏  
(昭和4年1月2日生 北野在住)

今も(有)村西商事の代表をされている村西さんは、水田農家（北野7条2丁目）の三男として生を受けました。小学生の頃から家業を手伝う毎日で、夏にもなると早朝の3時頃から起きて“馬の草かり”を手伝ったことが、今も辛い思い出となっているそうです。学校の思い出では、あしりべつ小学校（現清田小）時代に家から遠かったので猛吹雪になると低学年の時近くの民家によく泊ったり、また、家のまわりに吹きだまりができる2階の窓から出入りしたこと也有ったそうです。今では、想像もできません。

さて、村西さんは弟さんとともに、ご両親が営まれている水田農家を一生懸命手伝うかたわら38歳の時に「大工見習い」として修業を始めて大工免許を取得し、現在の自宅やアパート8棟とも設計も含めて、自分で建てられたそうです。自分の強い意志で目標を決めて、それに向かって挑戦、実行された様子を伺うことができました。

また、長い間ボランティアとして推進されている「北野の子どもみこし」と「地域子ども盆おどり」について触れます。まず、盆おどりについては昭和43年に、“子ども達と何か楽しいことを始めよう”と弟さんと一緒に自分たちの畑で樽と一斗缶を太鼓代わりにしてスタート。それが現在も2つの町内合同で続いている。子どもみこしについては平成3年が始まりで20年間続いているが、子ども達のために奔走され、平成6年から16年の11年間は運営責任者として活躍し、現在でも両行事には「地域の子どもとともに!!」を旨として物心両面から応援を続けられています。

（聞き手：吉川・赤坂）

### 町連ホームページのリニューアルについて

北野町連のホームページは、平成18年に開設されておりましたが、昨年秋より「清田区ITボランティア」の全面的なご支援を得ながら、更新作業が進められています。

更新にあたっては、町連の組織や活動内容、町連が行う各種イベント情報などの充実のほか、各町内会ともリンクできるようなホームページにしようと作業を行っているところであります。次のアドレスで確認することができますので、是非一度ご覧ください。

<http://kitanotiku.com/>

#### 標語投稿へのお礼とお願い

今回は、北野小学校の皆さんにご投稿いただき、ありがとうございました。これからは、地域の小・中学生の皆さんからも応募を期待しております。身近な生活や健康・安全など、短い言葉で思いを書いてみましょう。投稿先は、北野まちづくりセンターに協力ををお願いしています。（☎883-0373）



楽しい編集ができ  
各号とも皆様のご支援・協力で  
深謝致します。  
（上段）酒井、丹治、吉川、田部  
（下段）赤坂、清平、濱田、一瀬  
平成23年3月28日（赤坂記）

編集後記

（上段）酒井、丹治、吉川、田部  
（下段）赤坂、清平、濱田、一瀬  
（赤坂記）